

第51回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和4年8月20日(土)	試合番号	A8	回戦	2回戦
種別	中学生	会場	函館アリーナ メインアリーナ Aコート		

Aチーム			Bチーム		
東久留米市立西中学校(東京)			倉敷市立多津美中学校(岡山)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
34	19	前半	8	27	
	15	後半	19		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評

お互いにDFの動きを確かめるような静かなスタートであったが、左サイドや速攻からのシュートを着実に決める東久留米西中に対し、バックプレーヤを中心とした展開からのミドルやサイドからのシュートを1番GKの好守に阻まれ、多津美中はペースをつかめないまま5分で6対2となる。東久留米西中は、多津美中のフェイントに対する方向付けが意識されており、早いチェックと密集したディフェンスから、速攻など多彩な攻撃をしかけ10分には10対3とする。その後も相手ディフェンスの形をよく観察し、効果的な配球を続ける13番のパスから、東久留米西中は着実に得点を重ねる。これに対し多津美中は、フェイントからのミドルシュートやステップシュートなど工夫しながら得点を重ねていく展開となる。しかし、残り5分で、多津美中に2名の退場者があり、この間に速攻で得点した東久留米西中が19対8として前半を折り返す。

後半は、1番GKからのワンパス速攻などを中心に走り続けた東久留米西中に対し、5番、6番のステップシュートや7番のサイドシュート、8番のミドルシュートなどで応戦する多津美中は、15分で30対20とする。最後まで諦めなかった多津美中は、残り5分でディフェンスをマンツーマンのシフトに変え、攻撃も6番を中心に攻め続けたが、東久留米西中は交替選手も攻守に奮闘し、34対27で勝利をつかんだ。

記載者名

高田 智史